



八軒つうしん



巻頭言

新委員会への協力

会長 菅井 茂



昨年秋から日本経済は、未曾有の危機に見舞われ、雇用問題をはじめとして私たちの生活が脅かされています。

会員の皆様には不屈と共助の精神で、この危機を乗り越えられますようご祈念申し上げます。

さて、平成二〇年は、全体としての活動はなかったものの、各期の同期会活動が活発に行われ、会員同士の親睦が深められたと思います。また、二回開かれた代表幹事会では、活発な意見交換が行われ、常時活動する委員会の設置が認められました。

それらは、母校八軒中学校の過去・現在・未来に視点を

定め、同窓生と在校生が共に、それぞれの時点での母校の姿を明らかにしていくことが「母校の発展に寄与する」とことになるとの考えに立った、「私達の八軒時代編纂」委員会と「生徒の生活環境を考える」委員会です。この二つの委員会の活動については、後に書いてありますのでお読みいただき、ご理解とご協力をお願いいたします。

第一回代表幹事会

活発な議論を展開

平成二〇年七月五日、学区内南材コミュニティセンターにおいて、平成二〇年度第一回代表幹事会が開催されました。

菅井茂会長始めとした同窓会役員、事務局、同窓会参与である八軒中学校の永野幸一校長先生、太田幸蔵教頭先生、同窓会担当の高山先生、遠藤栄相談役、早坂一夫・佐々木トキ子前副会長のほか、第三

回生の高橋公一さんを筆頭に第六回生、第二九回生の各学年幹事にご参加いただきました。

永野校長先生からは、最近の母校の様子のほか、同期会を開催するので、校旗を貸してほしいという申し出があったことなどを紹介していただきました。

村井雅彦企画次長から総会後の一九年度の事業報告、遠藤恭郎会計次長から会計報告、佐々木博司監査から監査報告、菅原敏之事務局長から役員名簿と役割分担について報告がありました。

次に、本郷誠副会長から、新規事業についての提案がなされましたが、もう少し検討すべきという意見が出され、第二回代表幹事会までに練り直して提案することになりました。



その後、各学年

から近況報告がありました。引き続き、「コミュニティセンター隣の「寿司靖」で懇親会が行われました。元会長の高橋誠相談役や笠松儀一郎前事務局長も駆けつけ、更に活発な近況報告や意見交換が行われました。

第二回代表幹事会

二委員会の設置を承認

平成二〇年度第二回代表幹事会は、平成二〇年一二月六日、新しくなった八軒中学校北校舎の一階西端にある多目的ホールで開催されました。

菅井会長の挨拶の後、太田教頭先生から母校の近況についてお話しいただき、今年度は南材木町小学校の建替工事の関係で、防災訓練、学区民運動会などが八軒中で行われたとのことで、合唱部の歌う校歌が流れる中、それらの写真も見せていただきました。

(一頁からの続き)



第一回
代表幹事
会からの
持ち越し
である新
しい事業
について
は、「生徒

の生活環境を考える」と「私達の八軒時代編纂」の二つの委員会の設置が、予算も含めて承認されました。

議事終了後は、会場を河原町の「つきだてや」に移して、恒例の懇親会となりました。参加者それぞれの「八軒時代」の思い出話に花が咲きました。

新しい事業について

「生徒の生活環境を
考える」委員会

副会長 本郷 誠

目的は？

八軒中学区でも、少子高齢者

化や、核家族化の問題等で、世

代を越えた交流も少なくなつて
きている。同窓会が、生徒の生
活環境をよりよくしていくた
め、PTA・学校との「かかわ
り」をより濃密にし、一緒に考
えながら学校を支援しバック
アップしていく。

「安全・安心な生徒の生活環
境(交通・防犯等含)」「づくり
のため、専門的知識を持つてい
る同窓生の力を借りながら、学
区の各地区の問題点、解決策に
ついて考える会です。

具体的な活動内容は？

一 PTAと共に、生徒の部活
動の指導者、施設環境面の問
題を考える。

二 PTA・警察等と一緒に
なつて、安全なまちや生徒の
防犯上の問題を考える。

三 生徒の通学問題対策を行っ
ているPTA・交通安全協会
等に協力する。

四 学校と各町内会組織との勉
強会を開催する。

委員会のメンバーは？

菅原事務局長(第一四回生)他
七名を予定しておりますが、お
手伝いいただける同窓生を募集
しております。本郷(〇九〇・六
五四一・七〇五〇)までご連絡く
ださい。

「私の八軒時代編纂」

委員会

副会長 佐藤 徳子

同窓生の諸先輩より「六〇歳

を過ぎると体力や知力に自信が
薄らいでくるから、今の内に八
軒中を学び舎とした同窓生の、
中学時代の出来事や感じた事、
考え悩んだりした事、楽しかつ
た事、悲しかった事等の記憶を
たどり、それを文章として残し
てはどうか」という提案があり、
執行部で検討し、各学年代表幹
事会で皆さまのご意見を伺った
結果、同窓会の専門委員会とし
て設立するに至りました。

六〇歳以上に限らず、各世代
の会員の皆さまの思い出を冊子
にまとめれば、八軒中の歴史に

もなり、学校図書コーナーに置
いたり、八軒中の文化祭で展示
したりすることで、現役の中学
生や保護者にも昔の八軒中を
知ってもらえるのではないかと
思います。

活動方針は次の四点です。
一 平成二三年の第五回同窓会
総会を発刊の目安として、原
稿を集める。

二 各学年の幹事を通して原稿
を依頼し、代表者ということ
ではなく、会員の自由投稿と
する。

三 字数は八〇〇字とし、用紙
は何でも良く、メールやフ
ロッキーでの提出も可とす
る。

四 出来上がった冊子は、希望
者に少額で販売する(検討
中)。
会員の皆さまのご理解とご協
力をよろしくお願いいたします。



母校は今

在校生の活躍ぶり

《運動部》

第五七回仙台市中学校総合体育大会

陸上(県大会出場)

男子 二年一〇〇M四位、

一年一五〇〇M五位、

共通四〇〇M八位

女子 二・三年一五〇〇M

四位

ソフトテニス

男子 個人五位

女子 個人五位

バスケットボール

(県大会出場)

女子 若林区・宮城野区優勝

新体操(県大会出場)

女子 団体四位

バドミントン(県大会出場)

男子 若林区三位、五位

柔道(県大会出場)

男子 五五kg級五位

女子 団体二位、四八kg級二位、

五七kg級二位、四四kg級三位、

四八kg級三位



陸上カーニバル

水泳(県大会出場)

男子 四〇〇Mメドレーリレー

五位、四〇〇Mリレー五位、

一〇〇M背泳ぎ一位、二〇〇

M背泳ぎ一位、

二〇〇M背泳ぎ八位

女子 四〇〇Mメドレーリレー

八位、一〇〇M平泳ぎ二位、

二〇〇M平泳ぎ三位、四〇〇

M自由形六位、

八〇〇M自由形八位

駅伝(県大会出場)

女子 七位

第五七回宮城県総合体育大会

柔道(東北大会出場)

女子 四八kg級二位

バスケットボール

(東北大会出場)

女子 二位

水泳(東北

大会出場)

男子

一〇〇M

背泳ぎ一位、

二〇〇M

背泳ぎ一位

(全国大会

出場)

女子 一〇〇M平泳ぎ四位

* 新人戦でも県大会出場等の実績あり

《文化部》

吹奏楽

・全日本吹奏楽コンクール

県大会、東北大会出場

金賞

・第二七回マーチングバンド・

バトントワリング宮城県大

会 優秀賞

・第三七回マーチングバンド・

バトントワリング東北大会

銀賞

合唱

・宮城県合唱コンクール

金賞、宮城県知事賞

・第七五回NHK全国学校

音楽コンクール

宮城県コンクール 金賞

東北ブロックコンクール

銀賞

・第六〇回全日本合唱コン

クール東北支部大会 金賞

《その他》

・第五五回仙台市児童生徒

理科作品展

市長賞、教育長賞、部会長賞

・第五二回日本学生科学賞

宮城県審査

ミヤギテレビ賞、優秀賞



校内合唱祭

《主な学校行事》

・三年修学旅行 東京・横浜

五月一五日～一七日

・二年野外活動 秋田・岩手

五月一九日～二二日

・一年校外学習 山形

五月一六日

・陸上カーニバル

五月二八日

・文化発表会

九月一三日

・校内合唱祭

一〇月三一日

新しい仲間

平成一九年度(第六一回)同窓会入会式は、平成二〇年三月三日に行われ、男子九六名、女子七八名、計一七四名を新たに八軒中同窓会に迎えました。

菅井会長を始め、とした同窓会役員、事務局員が出席したほか、先輩の講話として第一四回生の大泉克郎さんにお話ししていただきました。



同期(級)会は花盛り

第二回生(昭和二四年卒)

三年八組(卒業時には五組に編入)は、男子一〇名、女子一九名のこじんまりとした家族的なクラスでした。平成に入ってからだけでも、同級会は七回開いています。住所不明者や、死亡された方を除き、十数名の方に呼びかけ、いつも参加率は七割程度です。

昨年十一月にも、歓談の機会

をつくりました。後期高齢者に仲間入りした私たちは、家族関係でも体調管理においても、何がしかの問題をかかえています。青春時代の甘酸っぱい思い出が一段落した後は、体調不良や老人介護の苦労話で、お開きとなる世代になりました。こんな同級会でも、元気なうちは、いつまでも続けたいと願っています。(八巻 広丞)

第三回生(昭和二五年卒)

第一回の同期会は昭和四六年に河原町のつきだて屋での開催が始まりで、以後二年ごとに休まずに開催しており、世話役は毎回交替制としておりました。

第一九回同期会は、昨年一月に松島センチュリーホテルで四三名の参加者を得て楽しく開催されました。

同期会の内容については、第一回から一五回までをDVDシアターに編集、同期会写真集として集録し、昭和六三年第九回松島大観荘以後はビデオ(DVD)に編集してやむなく欠席した人や希望者に頒布しており喜

ばれております。

来年は第二〇回の記念会になるので今から楽しみにしております。(高橋 公一)

第七回生(昭和二九年卒)

昭和二九年卒業生の「古希を祝う同期会」が催されました。

平成二〇年九月四日、仙台のホテル白萩に六八名が集いました。同期会は五年ごとに開催されますが、各回二つのクラスが持ち回りで実行幹事を務めます。準備の負担を軽減するために、連絡の幹事会を二回だけにして、本番に臨みました。同期生のほとんどが既にリタイアしていることと、関東から日帰りでも出席できるように配慮して、午後二時の開始です。

幹事代表の樋渡滋氏の挨拶、五島健雄氏の発声で乾杯した後、阿部正氏、小野英夫氏の軽妙な司会で和やかに座が盛り上がりました。クラスごとの出席者紹介や挨拶などあつという間の三時間で、校歌斉唱の後、再会を楽しみにしながら、野上忠志氏の中締めで、クラスごとの二次

会に散りました。

(樋渡 滋)

第八回生(昭和三〇年卒)

七回同期会を(三年ごとの集い)平成二〇年六月一二日午後五時より、パレス松洲で古希の祝いを兼ねて六四名出席で開催致しました。午後五時より記念写真撮影して、六時より司会者の先導で卒業以来亡くなられた五四名の方々のご冥福を祈り黙祷を捧げた後、代表幹事より近況報告を兼ねた挨拶があり、恩師の菅原昭二、沼田勲両先生からユーモアに包まれた元気なご挨拶をいただき参加者一同が大喜びし、懇親の場に移りました。

同期会の雰囲気はやはり中学生、先生を囲み五三年ぶりの再会でも一瞬にしてタイムスリップし、思い出話に花が咲き、気楽な楽しい一時を過ごすことが出来ました。今後もこのご縁を大切にして行きたいと考えております。

尚、当会は今回を持って終焉と致します。(佐々木 博司)

同期会は花盛り(二)

第一一回生(昭和三三年卒)

第四回の同期会は平成二〇年一〇月五日・六日の一泊二日で秋保グランドホテルにて開催されました。当日になって三名の欠席がありました。小川先生、星先生のご出席をいただき七八名という多数の参加により大変盛り上がりました。宴会とは別にセレモニーの部を一時間とりましたので両先生のご挨拶がすばらしく、クラス単位のスピーチも充分出来ました。宴会は落語、ハーモニカ演奏、歌に踊り、ウクレレ演奏等とビックリするような芸に拍手また拍手、話し足りない方、歌いたい方は二次会で充分楽しみました。次回の幹事も決まり、日帰りの五名以外の皆様は翌日、三年後はもっと多くの方に再会出来るようにと期して散会しました。

(齋藤 紀江子)

第二三回生(昭和三五年卒)

私達前期高齢者は、卒業して来年で半世紀となる。当初はク

ラス会主体で集まっていたが、昭和六〇年四二歳頃から同期会開催となり昨年で六回となった。初めは不定期で市内での日帰り会合であった。還暦を迎えた平成一六年第四回(秋保温泉・九三名)から二年毎の宿泊開催となった。第五回(新潟県月岡温泉・四八名)、昨年第六回(松島・六九名)と毎回多くの参加者があり盛況である。松島大会も例年同様大いに盛り上がり、気持ちは中学時代に戻り深夜まで旧交を暖め語り合った。翌日も船での嵯峨溪めぐり、近郊の散策、

ダベリング、ゴルフ組とそれぞれ楽しいひと時を過ごし、二年後の再会を約束し別れの途についた。(庄司 茂雄)

第一七回生(昭和三九年卒)

平成二〇年一〇月二五日、ホテルリッツフィールド仙台において、初めての同期会を開催しました。同期総数五七四名のうち、約二三〇名に案内し、九八名が参加しました。恩師五名にも出席いただきました。第一部は設立総会とし、会の

名称は「四ツ葉三九会」、会則、年会費等を決議しました。



四ツ葉三九会

役員として、会長に藤島博行氏、副会長に小野寺幹雄氏、事務局長に伊藤文雄氏を選出、懐かしいデミツ写真館に記念写真撮影をお願いしました。

第二部の懇親会では、全員による一〇秒自己紹介、同期メンバーが参加したバンド演奏などアツという間に時間が過ぎ、校歌を歌って閉会となりました。

(飯坂 隆一)

第一八回生(昭和四〇年卒)

影山信二先生と同期生何人かがプレイしていたゴルフに私が

入れて頂いたのは二〇〇五年九月で、シーズン中はほぼ月一回でした。

もっと沢山の方に参加して戴きたいと現在の三・七・一一年の年三回に変えたのは二〇〇七年一月でこれまで四回実施致しました。場所は毎回宮城県で一番安いマグノリア、参加人数は十人前後(影山先生は皆勤)、もちろん些かの賞金有、幹事は前回の優勝者、ダブルペリア方式。寒い時有り、暑い時有り、身体は実年齢を痛感し乍心は当時に戻り一日楽しく遊んでおります。参加者大募集中。八軒卒でなくても南材卒でもOKです。直野(〇九〇・九三八六・一七四六)までご連絡をお待ちしております。(直野 まり)



同期会は花盛り(三)

第一九回生(昭和四一年卒)

平成二〇年八月一日に仙台サンプラザで開催され、出席者は約六〇名とのこと。四年に一度、オリンピックの年に開催しているそうです。

(文責 広報)

第二七回生(昭和四九年卒)

平成一一年、卒業以来二五年ぶりに初めて開催した同期会も、今回で四回目。残念ながら過去最少の参加者となりましたが、佐藤進先生、片桐睦男先生、小山美代子先生をお迎えし、初参加や県外からの参加も含めて、



全員揃って

同期生二五名が平成二〇年一月二二日、仙台ガーデンパレスに集いました。

当時と変わらず楚々として美しいNさん。貫禄がついて、すぐにはわからない初参加のSくん。毎回最多参加者数を誇る四組の面々。そして変わらず元気でお美しい小山先生。卒業アルバムを見ながら相手を確かめたり、クラス単位で近況報告したり...

最後は校歌斉唱とエールで締めました。(永田 淳子)

第三六回生(昭和五八年卒)

平成二〇年八月一六日、同期会を開催いたしました。一二名に幹事を引き受けてもらい、二月から一〇回程度の実行委員会を重ね、二六年ぶりの初めての同期会を盛大に開催することができました。

卒業生二九三名中、男性三六名、女性三三名、先生二名に参加いただき一次会(午後二時)から三次会(午後一時)までの約九時間、あつという間の楽しい時間でした。参加した四一



校歌斉唱

歳のみんなは、はじける笑顔に輝いた瞳の中学生に戻り、久しぶりに大事な何かを取り戻したような、忘れていた大事な何かを思い出したような貴重な体験だったと思います。みんな元気にまた会うことを約束し、終了しました。八軒中、先生、同期生に心から感謝します。

(早坂 宏一)

掲載に当たって、執筆者の敬称は略させていただきます。ご了承ください。

編集後記

二〇年度は同級会や同期会が数多く開催されました。今号では三頁にわたって、その様子をお伝えしています。万一、掲載されていない学年がございましたら、ご容赦ください。

同級会、同期会の様子は、引き続きお伝えしていきたいと思っておりますので、同窓生の皆様からの情報提供、ご寄稿をよろしく願います。

八軒中学校のホームページに同窓会のページができました。この「八軒つうしん」のほか、同窓会からの各種お知らせも随時掲載されます。

http://www.sendai-c.ed.jp/~hachi ken

八軒つうしん第四号
発行日 平成二一(二〇〇九)年三月三日発行
発行者 八軒中同窓会事務局
〒九八四 〇八二七
仙台市若林区南小泉八軒
小路九 一
仙台市立八軒中学校気付